

2024 年度 美術学部 芸術学科 出題意図

◆外国語

長文を全文和訳させることで、その論旨を正しく把握できるかどうかを問うています。

英語 問題 1

出題された文章は、西洋美術における人体像の表現とモデルの関係を論じたものです。解剖学だけでなく、神経学や自然科学の知識を用いながら身体の表現を発展させてきました。文法的に難しいところはありませんが、冒頭の *fuman figure* という単語を「身体」や「人間像」と訳出できないと全体の文意を取りにくくなります。また、下から3行目の *'transaction'* という単語をそれまでの文脈から読み取り、どのように訳出するかが重要なポイントとなっています。

英語 問題 2

出題された文章は、風景画の美しさと実際の風景の美しさの違いという例を通して、芸術とは何かという問題を扱ったものです。風景画が、ただ単に自然を写し取ったものであれば、写真が発明されれば、それによって地位を奪われますが、そうではないとすれば芸術が行うこととは何か、という流れで議論が行われています。文章全体としては見慣れない単語は少なく、また文法事項として目立つのも関係詞や仮定法程度で、特に珍しいものではありません。しかし、関係副詞の使い方などによって特徴的な文体となっているところがありますので、著者の思考を正確に把握するためには丁寧に読む必要があります。

◆地理歴史 日本史

重要語句(人名、事項など)の説明を求める問題です。9題のうち5題を選択して解答します。ある程度の長さの記述問題ですので、知識の正確さに加えて、文章の読みやすさ、論理的明快さ、表現力も評価の対象となります。解答のはじめには各語句の読みがなを記す必要があります。

(1) 坪内逍遙

近代文学に関する問題です。読みがなは、「つぼうちしょうよう」です。坪内逍遙(1859～1935)は明治から昭和初期の評論家、小説家、劇作家、翻訳家。評論『小説神髓』で宗教や道徳から解放された写実主義文学を唱え、小説『当世書生気質』(ともに 1885～86)でそれを実践。また文芸協会(1906)を中心に演劇改良運動(新劇)を展開し、シェイクスピア全集の翻訳も行いました。

(2) 足利義満

室町時代の政治・経済・外交・文化に関する基礎知識を問う出題です。読みがなは、「あしかがよしみつ」です。室町幕府 3 代将軍・足利義満の権力形成過程、外交政策、文化的な貢献、および義満の果たした歴史的役割について、論点を整理して論述することを求めています。関連するキーワードは、次の通り。

南北朝の合一、幕府機構の整備(三管領・四職)、守護大名の反乱(土岐康行の乱、明德の乱、山名氏清、応永の乱、大内義弘)、日明貿易、朝貢、勘合、倭寇、日朝貿易、北山文化、鹿苑寺金閣、五山・十刹の制、五山文学、能(楽)、幕政の安定

(3) 伏見城

「伏見城」と一般に称され、今もその遺構とされる建造物が各地に残る城についての記述を中心に、築城から廃城までの経緯、16世紀末の歴史と文化について述べることを求めています。読みがなは、「ふしみじょう」です。

(4) 貝原益軒

江戸時代の本草学者として知られる「貝原益軒」について、日本における自然観の歴史的な変遷と文化との関わりを含めつつ、この時代の博物学への興味とそのあり方を述べることを求めています。読みがなは、「かいばらえきけん」です。

(5) 万葉集

奈良時代の文化に関する基礎知識を問う問題です。読みがなは、「まんようしゅう」です。日本最古の和歌集である『万葉集』の、成立年代・選者に関する推定、収録された和歌の数や内容・形式、代表的な歌人、歌人の階層などについて、簡潔に論述することを求めています。中世・近世における『万葉集』の註釈や論著に関する論述も、加点要素として評価します。関連するキーワードは、次の通り。

8世紀後半、大伴家持、約4500首、短歌、長歌、旋頭歌、相聞歌、挽歌、雑歌、額田王、柿本人麻呂、山上憶良、東歌、防人歌、『万葉集註釈』、仙覚、『万葉代匠記』、契沖、『万葉考』、賀茂真淵

(6) 安保闘争

第2次大戦後の社会運動を問う問題です。読みがなは、「あんぼとうそう」です。1960年に日米が調印した新安保条約(日米相互協力及び安全保障条約)をめぐる起こった反対運動。連携の強化によって日本がアメリカの軍事戦略にまきこまれる懸念から、革新勢力、学生、市民による大規模な反対デモが行われました。調印した岸信介内閣は、条約発効を見届けて総辞職しました。

(7) 寝殿造

「寝殿造」の構造とその特徴について述べること、またそれによってもたらされたと考えられる文化的な影響について例をあげつつ述べることを求めています。読みがなは、「しんでんづくり」です。

(8) 三奉行

江戸幕府の職制を問う問題です。読みがなは、「さんぶぎょう」です。三奉行は、將軍直属の寺社奉行(寺社、寺社領の支配)、老中管轄の町奉行(江戸の市政)、勘定奉行(幕府財政、天領支配)の総称。役職には譜代大名、旗本が任命され、月ごとに交代する月番制が行われました。町奉行は、南北二つが置かれた江戸町奉行のほか、京都、大坂、駿府にも置かれました。

(9) 桓武天皇

平安時代の政治・文化に関する基礎知識を問う問題です。読みがなは、「かんむてんのう」です。桓武天皇の出自、治世における政策、仏教への統制・保護、および桓武天皇の果たした歴史的役割について、論点を整理して論述することを求めています。関連するキーワードは、次の通り。

天智天皇、高野新笠、百済系渡来人、長岡(京)遷都、平安(京)遷都、山背遷都、和氣清麻呂、藤原百川、東北経営(蝦夷征伐)、征夷大將軍、坂上田村麻呂、アテルイ(阿弓流為)、胆沢城、志波城、親政、徳政争論、藤原緒繼、菅野真道、地方行政の監察、勘解由使、軍制の改革、健児、(律)令制の改革、奈良仏教、平安新仏教、天台宗、最澄、真言宗、空海

◆地理歴史 世界史

重要語句(人名、事項など)の説明を求める問題です。9題のうち5題を選択して解答します。ある程度の長さの記述問題ですので、知識の正確さに加えて、文章の読みやすさ、論理的明快さ、表現力も評価の対象となります。

(1)ベネディクト修道会

ベネディクト修道院はモンテ・カッシーノを本山として、6世紀にベネディクトゥスが開いた修道会です。西ヨーロッパ世界に広まると同時に、その後の西洋中世の規範となる戒律をもって、宗教的・社会的・文化的な面で極めて重要な位置を占めた点を指摘することが求められます。さらに10世紀のクリュニー修道院や、後期中世に登場する托鉢修道会の基盤となったことを記述することがポイントとなります。

(2)ヘレニズム

アレクサンドロスの東方遠征(BC.334)に伴ってギリシャ文化がインドからアフリカに至る広範な範囲に拡散すると同時に、各地方の伝統と融合しつつ多様な展開を見せた時代です。ローマからガンダーラに至る新たな文化形成に共通基盤を提供した、重要な時代である点を指摘することが求められます。ギリシャ文明を継承しつつ、美術や思想や科学の面でどのように成果が見られたかを記述することがポイントになります。

(3)ベルリンの壁

20世紀の東西冷戦の象徴ともいえるのが、1961年からドイツの都市ベルリンに当時のドイツ民主共和国(東ドイツ)が築いた通称「ベルリンの壁」です。本問では資本主義体制のドイツ連邦共和国(西ドイツ)側への市民の脱出を防ぐというこの築造の目的と、1989年のその撤去の事実についてまず述べてください。そして撤去に至る背景にあった冷戦構造の成立と崩壊について、要所を押さえ、かつ順序立てて説明しましょう。

(4)アンコール=ワット

カンボジアのアンコール朝時代の寺院です。スーリヤヴァルマン2世(スールヤヴァルマン2世)による設立、ヒンドゥー教寺院から仏教(上座部仏教)寺院への変化、アンコール=トムとの関係、世界遺産などの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。そのほか彫刻の内容、日本や西洋との関係、現代カンボジア史における位置づけなどについて記述も評価対象とします。

(5)ナイル川

北アフリカ東端の地域を流れる長大な河川で、定期的に氾濫を繰り返して流域の土地を肥沃にしたことから、古代エジプト文明の成立を促しました。本問ではこのように、地理的な条件を歴史的な事象と関連づけながら説明する視点が必要です。また時代を広くみて、20世紀以降もこの河川の水力や水運をするためにダムや運河がつくられ、その権利をめぐる中東や西欧の諸国間に衝突が起こったことも述べましょう。

(6)公民権運動

1960年代の初頭にアメリカに起こった、黒人差別を法的に撤廃することを求める運動ですが、まず「公民権」がなにかを明確にし、この獲得が黒人差別の解消とどう関連したかを説明することが重要です。さらにキング牧師をはじめとする指導者や運動の具体的な展開にも言及しつつ、背景にあったベトナム反戦運動やアフリカ諸国の独立運動の興隆、そして運動の成果として1964年の公民権法の成立があったことまでを、的確に述べてください。

(7)華僑

海外移住した中国人のことで、明代から増加し、19 世紀には東南アジアやアメリカ、オーストラリア等に広がっていきます。マレー半島へのイギリス進出、シンガポール建設、中国国内の革命運動への資金援助(孫文など)、アメリカの大陸横断鉄道、苦力、中国人排斥法などの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。

(8) 義和団事件

宗教団体である義和団を中心とした反キリスト教、排外主義を掲げた民衆蜂起。仇教運動、扶清滅洋、北京の占領と被害、清朝(西太后)による支持、8 か国による共同出兵による鎮圧、北京議定書などの基本的な事項や年代について正しく、かつ時系列に沿って記されていることがポイントとなります。この事件の影響により、半植民地化が進んだこと、光緒新政、日露戦争の遠因となったことについて、まんべんなく触れることも評価の対象となります。

(9) 聖像崇拜論争

ビザンツ皇帝レオン 3 世の聖像禁止令発布(726 年)を頂点とする 8、9 世紀の聖像崇拜を巡る論争です。聖像を容認する西ヨーロッパのカトリック教会と不寛容な東ヨーロッパの正教会の間で、教理の相違に留まらず布教の在り方を巡る状況の相違を反映し、東西教会の政治的分裂に帰結した点を記述することが求められます。

◆ 小論文

与えられた図版をよく観察して、作品の造形的特徴を論述する能力をみることを意図した出題です。

まず、観察能力については、1 対の金剛力士像に関する 6 組 12 枚の組み写真(図版)から、阿形像と吽形像との間にみられる共通点と相違点をどれだけ見出せるか、また、その観察結果をどれだけ客観的かつ明快に説明できているか、という点にポイントを置きました。

次に、論述能力については、さまざまな観察結果や気づきを合理的に組み立てて、理路整然とした論述に仕立てる思考力・文章力にポイントを置きました。文章を構成する言葉、語彙の豊かさにも注意を向けました。

【問題】では、「建築との関係に注意しながら」論述することを求め、①【図版の説明】に南大門における金剛力士像の安置方法について補足するとともに、②【図版】において全身正面の図版を 2 種類—南大門での安置状況の図版(図版 1・2)と、像だけの図版(図版 3・4)—提示しました。

①に関しては、建築としての門のもつ機能と金剛力士像の造形との関係や、門を通過する人の視線と金剛力士像との関係などを、論点として想定しました。

②に関しては、金剛力士像の造形とその安置空間としての南大門との関係—いわば、作品と容れものとの関係—を論点として想定しました。

注意事項としては、美術史的知識や歴史的解釈を求める出題ではないことがあります。提示した問題文や図版と関係のない論述—たとえば、運慶作品としての美術史的な位置づけとか、鎌倉時代の文化としての歴史的解釈など—は、加点要素として評価しません。

問題文をよく読み、提示された図版をよく観察した上で、限られた文字数のなかで出題意図に即した、簡潔明瞭な論述を展開することに心がけてください。

◆ 鉛筆素描(石膏像)

今回の鉛筆素描では、石膏像のなかから、通称「アバタのヴィーナス像」が出題されました。これを、3 時間で画用紙に鉛筆で素描します。出題の意図としては、石膏像の素描を通じて、対象の形態および明暗の調子の観察と再現、構図の取り方などの、基礎的な造形表現力を評価するための試験です。限られた時間で的確に石膏像

を描写するためには一定の視覚的・造形的訓練が必要ですが、そうした能力を身につけることは、芸術学科の専門領域である美学・美術史の学習・研究にとっても貴重な素養となるのです。